

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	令和元年度 鴻巣市総合教育会議		
開催日	令和元年8月6日(火)		
開催時間	午後1時10分 開会 ・ 午後2時20分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所本庁舎 302・303会議室		
議長氏名	鴻巣市長 原口 和久		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	鴻巣市長 原口 和久 【教育委員会】 教育長 武藤 宣夫 教育長職務代理者 石原 完 教育委員 丸山 まゆみ 教育委員 中山 裕子 教育委員 斉藤 敬 (6名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし		
執行部及び事務局 職員職氏名	【市長部局】 市長政策室長 根岸 孝行 市長政策室副室長 齊藤 隆志 【教育委員会】 教育部長 佐藤 康夫 教育部参与 野本 昌宏 教育部副部長兼教育総務課長 岡田 和弘 教育部副部長兼学務課長 大島 進 教育部学校支援課長 上岡 勝 教育部生涯学習課長 伊藤 和代 教育部スポーツ課長 竹井 豊 【こども未来部】 こども未来部こども応援課長 鳥沢 保行 【事務局】 総合政策課主査 黒巢 弘路 総合政策課主任 新井 洋平		
傍聴の可否 (傍聴者数)	可 (無し)		
会議の内容	(協議事項) 1 鴻巣市教育大綱について 2 鴻巣市通学区域審議会の答申について (決定事項など) 協議事項1については、基本理念と基本方針についての説明があり、次のような意見交換がされた。 ・ICTの導入については、令和3年4月の本稼働に向けて取組を進めている。 ・小中学校に設置されている既存の固定PCをタブレット化・無線LANの活用など、校内で場所を問わずPCが使用できる状況の整備を進めていく。		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士募集の目的は、児童の口腔衛生向上に加え、鴻巣市の健康都市宣言に基づき、市民に口腔衛生向上を啓発し、健康の増進を図ることとする。 ・ ラグビーW杯に関する取組については、市内の中学生を試合に招待し、チケットを購入できなかった方や、テレビ等で観戦し興味を持った方に対しては県営熊谷ラグビー場の見学ツアーを実施する。 ・ 東京オリンピック・パラリンピックに関する取組について、オリンピックの聖火リレーが通過することとなった。また、パブリックビューイングの実施も検討している。 ・ 本市の英語教育については特に力を入れており、その成果は子どもの意識調査において9割が「英語が好き」と回答したところから読み取れる。さらなる英語教育の充実を図っていく。 ・ 施設の長寿命化対策について、主に小学校のトイレの洋式化・校庭の芝生化を進めている。 <p>協議事項2について、学務課より通学区域審議会の答申について説明があり、これについては次のような意見交換がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模校の今後について、保護者や子供の意見を汲み議論を進めていくべきである。 ・ 全校50人以下、複式学級が2学級生じるということを一つの基準として、笠原小学校の存続については議論をしていくべきではないかと考える。令和6年度にはそういった状況が生じる見込みであるので、方向性について早めに検討するべきであると思う。 ・ 小規模校が全て子供に目が行き届きやすいとは言えない。小規模校のメリット・デメリットを保護者に伝え、スクールバスの導入なども検討する必要がある。 ・ 保護者の立場からすると、通学区域の弾力化は現時点を乗り切るだけのもので無責任だと感じる。笠原小学校の将来を考えるならば、統廃合なども必要である。 ・ 子どもにとっての社会が小さすぎるのは問題である。 ・ 通学区域変更の際の市のサポートなど、具体案を保護者に示すべきである。 ・ 将来の子育て世代に着目すべき。 ・ 複式学級になった場合、2学年を1人の教員が指導することとなる。市で採用している「いきいき先生」の派遣も検討している。
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度鴻巣市総合教育会議 次第 ・ 鴻巣市教育大綱（案）（令和2年度～令和6年度） ・ 鴻巣市教育大綱（平成27年度～平成31年度） ・ 鴻巣市教育大綱 体系図（案） ・ 鴻巣市教育振興基本計画作成スケジュール ・ 鴻巣市子ども・子育て支援計画作成指針・スケジュール ・ 通学区域審議会諮問 ・ 通学区域審議会答申 ・ アンケート結果（未就学児童対象）

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。